

吃音検査法講習会

～子どもを対象とした吃音検査の実技講習と事例検討～

講師：小澤 恵美氏 原 由紀氏

と き：2015年09月12日（土）

9時00分受付開始 9時30分～16時30分

ところ：ウインクあいち 1305号室、1306号室

（愛知県名古屋市中村区名駅4丁目 愛知県産業労働センター <http://www.winc-aichi.jp/>）

●参加費：11,000円

●定員：30名（完全予約制）

* 余席確認の上、下記郵便振込口座へお振込み下さい。

<郵便振り込み口座>

00840-1-67926

「子どものためのあいちAAC研究所」

- * 受講票をお送りいたします。
- * 受講票を受付でご提示下さい。
- * 住所は正確にお書き下さい。
- * 対象は、実際に吃音指導をしている言語聴覚士やことばの教室の先生方、吃音について学生の指導に当たっている方（大学や専門校の先生）です。

<講師紹介>

- ◆ 小澤 恵美（おざわ えみ）氏
 - ・ 元国立障害者リハビリテーションセンター病院
 - ・ 言語聴覚士
 - ・ 著：「吃音検査法」（学苑社）など
- ◆ 原 由紀（はら ゆき）氏
 - ・ 北里大学医療衛生学部
 - ・ 言語聴覚士
 - ・ 著：「特別支援教育における吃音・非流暢性障害のある子どもの理解と支援」（学苑社）など

主催：子どものためのあいちAAC研究所

連絡先：春日井市弥生町2丁目105-1 子どものためのあいちAAC研究所

代表：中島雅史

TEL/fax 0568-85-4020 (<http://www.aichi-aac-center.jp>)

今回は、吃音検査法の講習会です。この検査法をまとめ上げたお二人の先生を講師としてお招きいたします。当日は、検査法の概要、それをういた検査の進め方の実際、そして指導の進め方を学びたいと思います。吃音の言語症状を評価する際、「吃音検査法（試案）」を使用しておられる先生方が多いのではないかと思います。吃音検査法の作成の歴史には、幾多の困難と葛藤がありました。その過程で生まれたのが「試案」です。質問応答、絵カードによる単語呼称、動作絵の説明、音読などの発話課題を実施することで得られる情報から言語症状を分析しました。言語症状を分類する項目がたくさんあり分析には多くの時間と経験が必要でした。

今回出版された新しい吃音検査法は、先に「試案」作成にかかわってきた臨床家たちが努力の末に生み出したものです。これまでの吃音臨床研究の成果をもとに、加えて検査するものにとっても、検査を受ける者にとっても負担が少なく、そして正確な評価と有効性の高い臨床に結びつくものであることを願いつくられています。検査項目は、大きく分けて「基礎項目」と「掘り下げ項目」です。実施方法も、記録・評価の仕方ともても行いやすくなっています。もちろん、検査を受ける子どもの負担も少なくなり、楽しみながら検査を受けられるようになっています。吃音症状は、吃音中核症状頻度、総非流暢性頻度、持続時間、緊張性、随伴症状、工夫・回避、情緒性反応の7つの指標に分けて分析をするようになっています。重症度プロフィールを描くことができ、視覚的に言語症状の全体像をとらえやすくなっています。講習会では、グループに分かれ、実際の検査場面をDVDで見ながら分析・評価をします。加えて、実際の支援の進め方も考え合いたいと思います。今回は、特に言語聴覚士や「ことばの教室」の先生方のご参加をお待ちいたしております。

<スケジュール>

09:00	受付開始
09:30	講習会開始 吃音検査法概論 吃音検査の演習
12:00	お昼休憩
13:00	2グループに分かれて事例検討
16:15	質疑応答

『吃音検査法』（学苑社／18,000円）

◆ 特徴

- ・ 年齢別：幼児版、学童版、中学生以上版
- ・ 検査内容は、指導立案の参考になる
- ・ 付属のスピーチサンプル（CD-ROM）を活用することにより、実際に吃音症状および非流暢性の分類が理解できる

* 当日購入可（事前にお知らせください）。

<アクセス>

<電車をご利用の場合>

◎JR 名古屋駅桜通口から
ミッドランドスクエア方面 徒歩5分

◎ユニモール地下街5番出口 徒歩2分

<お車をご利用の場合>

◎ 名古屋高速都心環状線「錦橋」出口より
約6分

◎ 周辺に有料駐車場が多くあります

